

飾り傘作成支援システム

和歌山大学 システム工学部 3 回生

チーム名：『ほっ』

代表：小櫻茂樹

メンバー：北内隆寛・下田博之・高松昭徳・永井健雄・
宗田瞬・吉本昌広・坂本龍児

指導教官：松田憲幸

協力：和歌山県・県シニアマイスター 木本忠義さん

<目的と背景>

芸術家・職人には創造性を引き出す道具が必要である。この道具には高性能・高品質を要求される。初心者でも簡単に活用可能、技術不足を補う、支援する物の魅力を理解してもらえ、想像を具現化するという道具が求められている。

・ 飾り傘とは

折り紙の一種で、数十枚の同じ紙で作る。

「出来上がる過程を楽しめる」・「癒しの効果がある」などの効果がある。

飾り傘の独自の作り方は和歌山県・県シニアマイスターの木本忠義さんが考案されたもので、その独自の方法は現在特許出願中である。

この飾り傘というのは

- ・ 1つの飾り傘を作成するには多大な時間を要する。
- ・ イメージと実際の形が一致するかは作ってみないとわからない。
- ・ 時間をかけて作ったものがイメージと違い、1から作り直すことも少なくない。

などの問題点があり、寸分の狂いが作品を台無しにしてしまう場合もある。

しかし、支援システムを使えば完成後のイメージが納得のいくまでコンピュータ上で試作することができる。これにより思い描いたイメージを作品に反映することができ、より芸術的な作品を作ることができる。

<システムの概要>

自分の希望の紙を使用した完成図の確認が可能。

完成図をあらゆる角度からの閲覧が可能。

パソコン知識をもたなくても、操作可能なインターフェースを持つ。

自主演習ポスター(第6回学生自主研究コンクール)

1つの飾り傘を作成するには多大な時間を要する

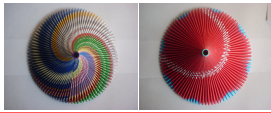
- 多数の手順を踏んで
- 時間をかけても
- 作ってみたいとわからない

職人の方でも6時間から1日とわけています。時間をかけて作りたいのがイメージに近い1から作り直すことも少なくありません。自分の思いが作品を台無しにします。

飾り傘とは？

折り紙の一種で、数十枚の同じ紙で作る。「出来上がる過程を楽しめる」「癒しの効果がある」などの効果がある。

飾り傘の独自の作り方を和歌山県・県シニアマスターの本木忠義さんが考案されました。その独自の方法は現在特許出願中です。



↓

支援ソフトを使えば完成後のイメージがわかる！

- 好きな紙で
- 好きな角度から
- 手軽に見ることができる！

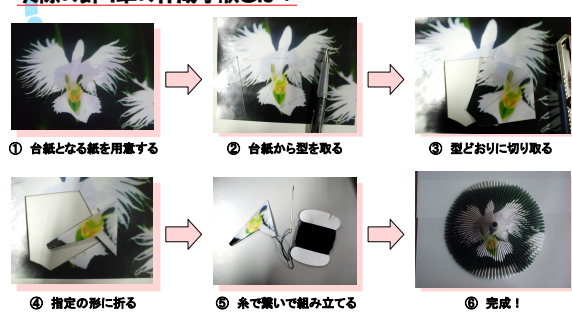
支援システムを使うことで、制作のイメージをコンピュータ上で試作することができます。これにより思い通りのイメージを作品に反映することができ、より素晴らしい作品を作ることができます！

連絡先

和歌山大学システム工学部 飾り傘チーム
 Mail: taki-b3@sys.wakayama-u.ac.jp
 WEB: <http://www.sys.wakayama-u.ac.jp/~matsuda>

飾り傘の指導
和歌山県・シニアマスター 本木忠義さん

実際の飾り傘の作成手順とは？



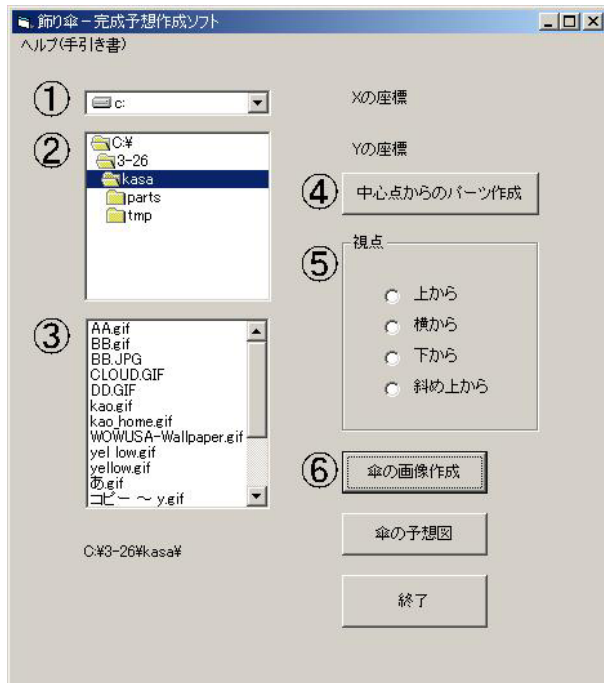
芸術支援賞受賞



元画像



完成予想CG



設計画面